

1 教科目標

国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる。

2 評価の観点及びその趣旨

- (1) 目的や場面に応じ、社会生活にかかわることなどについて相手や場に応じて話す能力、表現の工夫を評価して聞く能力、課題の解決に向けて話し合う能力を身に付けさせるとともに、話したり聞いたりして考えを深めようとする態度を育てる。
- (2) 目的や意図に応じ、社会生活にかかわることなどについて、理論の展開を工夫して書く能力を身に付けさせるとともに、文章を書いて考えを深めようとする態度を育てる。
- (3) 目的や意図に応じ、文章の展開や表現の仕方などを評価しながら読む能力を身に付けさせるとともに、読書を通して自己を向上させようとする態度を育てる。

3 各学年の目標

(1) 国語への関心・意欲・態度

国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語に対する認識を深め、話したり聞いたり書いたりして考えを深め、読書を通して自己を向上させようとする。

(2) 話す・聞く能力

目的や場面に応じ、相手の様子に合わせて話したり、表現の工夫を評価して聞いたり、課題の解決に向けて話し合ったりしている。

(3) 書く能力

目的や意図に応じ、文章の形態を選択し、論理の展開を工夫して説得力のある文章を書いている。

(4) 読む能力

目的や意図に応じ、文章の展開や表現の仕方などを評価しながら読み、人間、社会、自然などについて自分の考えをもっている。

(5) 言語についての知識・理解・技能

伝統的な言語文化に親しんだり、言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し使ったりするとともに、身の回りの文字に関心を持ち、効果的に文字を書いている。

4 指導計画・評価計画表

【関】：国語への関心・意欲・態度 【話・聞】：話す・聞く能力 【書】：書く能力 【読】：読む能力 【言】：言語についての知識・理解・技能

月	指導計画	評価規準	評価方法
	<p>わたしを束ねないで 3時間</p> <p>1 本文を通読し、おおよその内容を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新出漢字を調べる。 ・詩の描写、言葉に対する思いの表れた表現を抜き出し、表現上の工夫について気づいたことを述べ合う。 <p>2 作者の人間の尊厳に対する思いを読み取り、その思いに対する自分の考えを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「束ねる」とはどういうことか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の意図や表現のしかたなどを評価しながら読み、人間、自然などについて自分の考えをもとうとしている。 ・筆者の思いが読み取れる表現を抜き出させ、考えを述べさせる。 ・繰り返して使われる言葉に気づき、表現に注意して読んでいる。 ・作品を読み、自分の考えを深めようとしている。 ・作品を読み、展開や表現のしかたについて評価して自分の考えを深めようとしている。 ・どういうところが心に残ったか、感想を書き、関心を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の様子の観察 ・ノート記述 ・発言内容 ・音読表現

<p>6</p>	<p>握手 6時間</p> <p>1 作品を通読する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・注意する語句・新出漢字を調べる。 ・作品のエピソードをもとに、登場人物や場面の設定を確認する。 <p>2 作品全体の構成を捉える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「現在」と「過去」とを入れ替わり重ねていく構成を押さえる。 <p>3 会話文やエピソードに着目して、登場人物の人物像や心情を捉える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会話文の言葉などから、ルロイ修道士の人物像を捉える。(学習2) ・「わたし」のルロイ修道士に対する心情を捉える。 <p>4 登場人物の言葉や描かれ方、場面の展開のしかた、「わたし」の思いなどに注目して、作品のよさや価値について話し合う。(学習3)</p> <p>5 学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の生き方や考え方をもとに、人間や社会について考えたか。 ・登場人物のエピソードや言葉に着目して読み、作品を理解したか。 ・作品について自分なりに感想をもつことが出来たか。 <p>季節のしおり 春</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春の季語や、春を詠んだ和歌や俳句などを味わい、伝統的な言語文化に親しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の表現や展開のしかた、内容について、自分なりに観点を決めて批評している。 ・作品の表現や展開のしかた、内容について、自分なりの観点から、具体例や根拠を挙げながら批評している。 ・場面ごとに登場人物やエピソードを整理して人物像や心情を捉えさせ、それについて感想を述べさせる。 ・作品に使われている言葉や表現を作品の時代背景に着目しながら読んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感想文内容 ・活動の様子の観察 ・ノート記述 ・発言内容 ・音読表現 ・感想文内容
	<p>学びて時にこれを習ふ 3時間</p> <p>1 本文を通読し、おおよその内容を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・孔子と「論語」の基礎知識を学ぶ。 ・音読を繰り返し漢文独特の文体に読み慣れる。 <p>2 訓読点等、漢文の決まりについて理解する。</p> <p>3 論語に書かれている内容について自分なりに感想をもつ。</p>	<p>関 論語の文章の内容や人間の生き方に関心をもち、漢文の言い回しに読み慣れようとしている。</p> <p>漢文に描かれた人としての生き方について読み味わおうとしている。</p> <p>読 漢文独特の言い回しに注意して論語を音読し、孔子のものの見方や考え方について、現代にも通じるものとしてとらえている。</p> <p>言 漢文の特徴に注意しながら繰り返し読んで、漢文特有の文体を理解している。</p>	

<p>7</p>	<p>言葉 1 和語・漢語・外来語 1 時間</p> <p>文字を効果的に使うために 2 時間 書写</p> <ol style="list-style-type: none"> 教科書に掲載された誌面を見て，ゴシック体・明朝体・手書き文字の特徴と，それぞれの文字から受ける印象をまとめ，話し合う。 活字にもさまざまな書体があることを理解する。 「学習の窓」を見て，ゴシック体・明朝体・手書き文字の特徴と，それを使うことによる効果を確かめる。 <p>新しい博物学の時代 6 時間</p> <ol style="list-style-type: none"> 全文を通読し，要約文を書く。 小見出しを参考に，文章全体の構成を捉える。 <ul style="list-style-type: none"> 論理的に物事を考えるうえで効果的な漢語に着目する。 科学的なものの見方や研究方法について，自分の考えをもち，話し合う。 学習を振り返る。 <ul style="list-style-type: none"> 筆者の論理の展開に注意して，種々の仮説を読み取ったか。 	<ol style="list-style-type: none"> 導入の例文をもとに，和語・漢語・外来語から受ける印象の違いについて考える。 和語・漢語・外来語・混種語の性質や特徴について理解する。 <p>関</p> <ul style="list-style-type: none"> ゴシック体・明朝体・手書き文字の特徴と，それぞれの文字から受ける印象について，主体的に話し合おうとしている。 <p>知</p> <ul style="list-style-type: none"> 目的に応じて効果的に文字を書く必要があることを理解している。 <p>技</p> <ul style="list-style-type: none"> 明朝体・ゴシック体・手書き文字の特徴と，それを使うことによる効果を理解した上で，目的に応じて効果的に文字を書いている。 <ul style="list-style-type: none"> 語句の使い方や表現上の工夫に注意しながら文章を読み，論理の展開のしかたなどについて評価しようとしている。 ノート記述 <ul style="list-style-type: none"> 発言内容 音読表現 <ul style="list-style-type: none"> 活動の様子の観察 ノート記述
----------	---	--

		<ul style="list-style-type: none"> ・活動の様子の観察 ・発言内容 ・作品内容 <ul style="list-style-type: none"> ・活動の様子の観察 ・ノート記述 ・発言内容 ・音読表現 ・要約文内容 	
	<p>社会との関わりを伝えよう スピーチ 4時間</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 スピーチメモをまとめる 2 自分をアピールする場とその目的を考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・場面・相手・目的と、それにふさわしい話題や話し方について考える。 ・聞き手がどんな情報を求めているかを考える。 ・経験や知識を整理し、自分の魅力をアピールできる話題を決める。 ・互いのよいところを指摘し合い、自分の考えを深めたり表現に役立てたりする。 <p>漢字 1 熟語の読み方 2時間</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 漢字二字の熟語には、音または訓を重ねる読み方と、音と訓とを組み合わせた読み方があることを知る。 2 教材文を読み、さまざまな熟語の読み方について理解する。 <p>俳句の可能性 俳句十六句 3時間</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「俳句の可能性」を通読し、俳句の特色などを知るとともに、五句それぞれに込められた心情や情景を想像する。 <ul style="list-style-type: none"> ・詠まれている情景を想像しながら、それぞれの俳句を音読する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の様子や状況に応じて、説得力のある話を工夫しようとしている。 ・語句の効果的な使い方に注意し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の様子の観察 ・発言内容 ・スピーチ ・スピーチメモ <ul style="list-style-type: none"> ・活動の様子の観察 ・ノート記述 <ul style="list-style-type: none"> ・活動の様子の観察 ・ノート記述 ・音読表現 ・発言内容 ・作品内容

	<ul style="list-style-type: none"> ・俳句に関する専門用語の意味を確認する。 ・筆者のものの見方や感じ方が表れている語句や表現などの意味を調べ、筆者の主張を捉える。 <p>3 学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆者のものの見方や感じ方、表現のしかたなどを読み味わい、俳句の世界に親しんだか。 ・語句の使い方や表現のしかたを工夫して俳句を作ったか。 <p>季節のしおり 夏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏の季語や、夏を詠んだ和歌や俳句などを味わい、伝統的な言語文化に親しむ。 		<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞内容
<p>8</p> <p>9</p>	<p>音読を楽しもう 古今和歌集 仮名序 1時間</p> <p>君待つと ——万葉・古今・新古今 6時間</p> <p>1 和歌を声に出して読み、言葉の響きやリズムを楽しむ。</p> <p>2 「万葉集」「古今和歌集」「新古今和歌集」の特色を知り、和歌に表れた作者の心情や情景を想像して、短い文章にまとめる。 ◇現代語訳や脚注、出典を参考にさせる。</p> <p>3 心に響いた和歌を一首選び、鑑賞文を書く。</p> <p>高瀬舟</p> <p>読書案内 5時間</p> <p>1 「読書生活をデザインしよう」を読み、自分の読書生活を振り返り、今までの読書傾向を分析する。</p> <p>2 分析したことをもとに、読書歴や本の見つけ方、本の読み広げ方などについて、グループで話し合う。</p> <p>3 読書教材「高瀬舟」を読み、どんなところに興味をもったか、感想を交流し合う。</p> <p>9</p> <p>4 教科書の図書案内を参考にしながら、これから読んでみたい分野や作家を挙げさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの和歌集の特色を踏まえながら、和歌に表れた古人の心情や情景について、より多くの想像をしようとしている。 ・和歌の表現技法や語句の使い方に気づいて読み味わい、当時の自然観やものの考え方について自分の意見をもっている。 ・表現や場面・人物設定などに着目し、評価しながら読むとともに、読書生活を振り返って、今後の方向性について考えている。 ・これまでの読書経験で得たものや、今興味をもっていることなどを出させ、読書案内や書評を参考に、これからの読書生活を考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の様子の観察 ・ノート記述 ・発言内容 ・音読表現 ・ <p>活動の様子の観察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノート記述 ・読書記録 ・発言内容 ・口頭発表（スピーチ）

	<p>5 学習を振り返る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書記録などを振り返り、自分の読書生活について分析したか。 ・読みたい本や作家を挙げ、今後の読書生活について考えたか。 <p>季節のしおり 秋</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秋の季語や、秋を詠んだ和歌や俳句などを味わい、伝統的な言語文化に親しむ。 <p>「座右の銘」 スピーチ 5時間</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 スピーチメモを書く 2 自分をアピールする場とその目的を考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・場面・相手・目的と、それにふさわしい話題や話し方について考える。 ・聞き手がどんな情報を求めているかを考える。 ・経験や知識を整理し、自分の魅力をアピールできる話題を決める。 ・互いのよいところを指摘し合い、自分の考えを深めたり表現に役立てたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の様子や状況に応じて、説得力のある話を工夫しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の様子の観察 ・発言内容 ・スピーチ ・スピーチメモ
10	<p>夏草——「おくのほそ道」から 6時間</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 地の文と俳句の組み合わせによる構成の効果に注意しながら、全文を朗読する。 <ul style="list-style-type: none"> ・語句の効果的な使い方や表現のしかた、文体の特徴に気づく。 ・対句や漢文調の言い回しを知る。 2 教材文を読み、芭蕉の思いを読み取る。 <ul style="list-style-type: none"> ・「1」を読み、芭蕉の旅への思いが表れている部分を抜き出し、芭蕉の思いについて考える。 <p>挨拶 ——原爆の写真によせて 3時間</p> <p>「目標」や「学習の見通しをもとう」などから本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 作品を通読し、リズムや表現の工夫などについて気づいたことを話し合 	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの俳句の特色を踏まえながら、俳句に表れた古人の心情や情景について、より多くの想像をしようとしている。 ・俳句の表現技法や語句の使い方に気づいて芭蕉のものの見方について考えている。 <ul style="list-style-type: none"> ・詩を読み味わい、作者のものの見方や考え方について自分の意見や考えをもとうとしている。 ・表現や語句の効果に着目し、現実の世界の在り方と対応させながら、人間や社会について自分の言葉で説明している。 <p>A 国語辞典を活用するなど、積極的に語感を磨き語彙を豊かにしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の様子の観察 ・ノート記述 ・発言内容 ・音読表現 ・感想文内容 <p>活動の様子の観察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノート記述 ・発言内容 ・音読表現 ・感想文内容

11	<p>う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・注意する語句を調べる。 ・繰り返し出てくる「顔」という言葉に着目し、それぞれ誰を表現しているのか確認する。 <p>2 語句や表現に込められた意味を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「午前八時一五分は／毎朝やってくる」「油断」の意味 <p>3 作者のものの見方や考え方について、自分の意見を持ち、発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今の自分の状況と照らし合わせながら作品を読み深め、現代に生きる人間や社会の在り方について自分の考えをもつ。 <p>4 学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表現に着目して詩を読み、人間や社会について自分なりに考えたか。 ・詩の内容と、現実の世界の在り方とを対応させて読んだか。 <p>季節のしおり 冬</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冬の季語や、冬を詠んだ和歌や俳句などを味わい、伝統的な言語文化に親しむ。 <p>故郷8時間</p> <p>1 作品を通読する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の人間関係や、場面設定（現在の場面・思い出の場面）を確認する。 <p>2 情景や登場人物の描写に着目し、登場人物の1作品を通読する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・注意する語句・新出漢字を調べる。 ・登場人物の人間関係や、場面設定（現在の場面・思い出の場面）を確認する。(学習1) <p>2 情景や登場人物の描写に着目し、登場人物の心情や作者の意図を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・故郷や我が家の様子、登場人物などについて、思い出と現在の様子との変化が表れた部分を抜き出して比べる。 ・「わたし」とルントウの関係が変わった理由について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品に描かれている人間と社会との関わりについて考え、自分の意見をもとうとしている。 ・具体的な登場人物を挙げて、その人々と社会との関わりに気づかせる。 ・情景や人物を描写する語句や表現を根拠として、登場人物の心情や作者の意図について読み深めている。 <p>関 これまでに学習したことを生かし、主体的に作品を作っている。</p> <p>技 これまでに学習したことを生かし、主体的に作品を作っている。</p> <p>知 これまでに学習したことを理解している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・口頭発表（スピーチ） ・活動の様子の観察 ・ノート記述 ・発言内容 ・音読表現 ・感想文内容
----	---	---	--

	<p>◇会話文の中の「……」に込められた話し手の心情を想像させる。</p> <p>作品から人間と社会との関わりについて考え、自分の意見をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「希望」という表現に着目して読み、「わたし」がどのような社会を望んでいたのかについて考え、意見を交流する。 <p>4 学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品から人間と社会について考え、自分の意見をもったか。 ・情景や人物を描写している表現に着目して、作品を読んだか。 <p>未来に向かって 2時間 書写</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 これまでに学習したことを生かして、毛筆で「輝ける未来へ」を書く。 2 台紙に貼り付けて卒業記念作品として掲示し、感想を交流する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・活動の様子の観察 ・発言内容 ・作品内容
12	<p>言葉2 慣用句・ことわざ・故事成語 3時間</p> <p>慣用句・ことわざ・故事成語の特徴や性質について理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ことわざや故事成語の意味を調べる。 ・故事成語や慣用句を使って作文を作る。 <p>日本文学の流れ 4時間</p> <p>上代から現代までの日本文学の流れを理解する</p> <p>文法</p> <p>2時間</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 教材文を読み、文法的な観点から言葉について考察することの意義を確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ・導入の課題に取り組み、三つの「ない」の違いについて考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・より多くの慣用句・ことわざ・故事成語について理解し、表現の幅を広げようとしている。 ・身の回りの慣用句・ことわざ・故事成語を例として示して、多く使われていることに気づかせる。 <p>か確かめようとしている。</p> <p>形容詞や助動詞の識別の例題を、日常生活で使用されているもので示して考えさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の様子の観察 ・ノート記述 ・作品内容 <p>活動の様子の観察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノート記述 <p>活動の様子の観察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノート記述 ・レポートの作成 ・発言内容

<p>1</p>	<p>「批評」の言葉をためる 4時間</p> <p>1 批評文について知る。 ・批評文を書く価値を確認し、例を参考に、批評文に必要な要素や書き方を知る。</p> <p>2 論理の展開や表現を考えて批評文を書く。 ・下書きをし、友達と読み合うなどして推敲する。</p> <p>3 批評文を読み合い、ものの見方を深める。</p> <p>4 学習を振り返る。</p> <p>言葉 1 和語・漢語・外来語 2時間</p> <p>作られた「物語」を超えて 4時間</p> <p>1 各段落の役割や叙述の順序に注意して読み、内容を理解する。 ・構成や展開の工夫について考え、筆者のものの見方や考え方について、知識や体験と関連付けて自分の考えをもつ</p> <p>2 関心のある社会問題について、根拠を示しながら意見を述べる。</p>	<p>・友達の書いた批評文のよさやものの見方や考え方について、自分との相違を明らかにしながら考えを深めている。</p> <p>1 導入の例文をもとに、和語・漢語・外来語から受ける印象の違いについて考える。</p> <p>2 和語・漢語・外来語・混種語の性質や特徴について理解する。</p> <p>関読 ゴリラの事例を通して、筆者が主張をしていることを読み取ろうとしている。前半部分の構成の工夫や写真の効果的な使い方について注意しながら文章内容を理解し、後半の筆者の主張との関係を考えながら、筆者の考え方に対する自分の考えをまとめている。</p> <p>書 テーマについて、具体例やデータを挙げながら意見を述べている。</p> <p>言 筆者が文章の形態や展開についてどのような工夫をしているか考えている。</p>	<p>・活動の様子の観察 ・ノート記述 ・発言内容 ・音読表現 ・要約文内容</p> <p>活動の様子の観察 ・ノート記述</p> <p>活動の様子の観察 ノート ワークシート 発言内容</p>
<p>2</p>	<p>月の起源を探る 4時間</p> <p>1 全文を通読する。要約文にまとめる。</p> <p>2 小見出しを参考に、文章全体の構成を捉える。 ・論理的に物事を考えるうえで効果的な漢語に着目する。 ・図と本文との対応を確認し、図の役割や効果について考える。</p> <p>3 科学的なものの見方や研究方法について、自分の考えをもち、話し合う。</p> <p>4 学習を振り返る。 ・筆者の論理の展開に注意して、種々の仮説を読み取ったか。 ・小見出しや図の役割、効果などについて理解したか。</p> <p>説得力のある文章を書こう</p>	<p>・語句の使い方や表現上の工夫に注意しながら文章を読み、論理の展開のしかたなどについて評価しようとしている。</p> <p>・友達の書いた批評文のよさやものの見方や考え方について、自分との相違を明らかにしながら考えを深めている。</p> <p>関知 先人の筆跡に関心を持ち、現在の文字とのつながりを見つけようとしている。これまでに学習してきた漢字や仮名は、先人の優れた筆跡を基礎として発展してきたものであることを理解する。</p>	<p>・活動の様子の観察 ・ノート記述 ・発言内容 ・音読表現 ・要約文内容</p> <p>・活動の様子の観察</p>

	<p>批評文を書く 5時間</p> <ol style="list-style-type: none"> 批評文について知る。 <ul style="list-style-type: none"> 批評文を書く価値を確認し、例を参考に、批評文に必要な要素や書き方を知る。 題材を決め、関連する情報を集める。 <ul style="list-style-type: none"> 関心のある事柄について意見交換をし、題材を決める。 取材を重ね、得られた資料を整理する。 論理の展開や表現を考えて批評文を書く。 <ul style="list-style-type: none"> 下書きをし、友達と読み合うなどして推敲する。 批評文を読み合い、ものの見方を深める。 学習を振り返る。 <p>先人の文字に学ぶ 書写</p> <ol style="list-style-type: none"> 「蘭亭序」「高野切第三種」を鑑賞し、これまでに学習してきた漢字や仮名が、先人の優れた筆跡を基礎として発展してきたものであることを理解する。 さまざまな書き手による「道」「風」を鑑賞し、同じ書体であっても書き手によってさまざまな個性が見られることを理解する。 	<p>知 同じ書体であっても、書き手によってさまざまな個性が見られることを理解している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ノート記述 ・発言内容 ・音読表現 ・批評文内容 ・活動の様子の観察 ・作品内容
3	<p>アラスカとの出会い 4時間</p> <ol style="list-style-type: none"> 文章を通読する。 <ul style="list-style-type: none"> 一冊の本や一枚の写真といった、何かとの出会いが自分の考え方を変えるきっかけになったようなことがあったかを考える。 自分の未来に思いをはせて考える。 <ul style="list-style-type: none"> 筆者はどんな出会いによって人生が変わったのか、どんな夢をもって道を切り開いていったのかを読み取る。 これからの自分のことを考える。 <p>暖かいスープ 2時間</p> <ol style="list-style-type: none"> 文章を通読する。 	<p>A 筆者の人生観について、経験などを踏まえて自分の考えを述べている。</p> <p>支 文章中の語句や表現については後注を参考にさせる。</p> <p>・これからの国際社会を生きるために何が必要かを考えるために「暖かいスープ」を読み、これからの自分の生き方や考え方について方向性をもった意見をもっている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ノート記述 ・作文 ・レポートの作成 ・発言内容 ・作文内容 ・音読表現

<p>・注意する語句・新出漢字を調べる。</p> <p>・周りの人の優しさや心の触れ合いが心に残った様なことが今までにあったかを考える。</p> <p>2 自分のこれからの生き方を考える。</p> <p>・これからの国際社会を生きる上で必要なことは何かを読み取り考える。</p> <p>[コラム]手書きの力 1時間 書写</p> <p>1 谷川俊太郎の筆跡を鑑賞し、手書き文字に対する思いを読んで、そのよさについて話し合う。</p>	<p>関 手書き文字のよさや特性について、主体的に考えようとしている。</p> <p>知 手書き文字のよさや特性について、さまざまな側面から理解を深めている。</p>	<p>・活動の様子の観察</p> <p>・作品内容</p>
---	---	-------------------------------